

教科名	理科		学年	3	教科書 補助教材 等	東京書籍 改訂 新編 生物基礎 東書 生基312	
科目名	B選択 生物基礎		単位数	3			
科目の到達目標	日常生活との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、観察や実験を通して、生物学的に探究する能力と態度を育てると共に、生物学の基礎的・基本的な知識を理解させ、科学的な見方・考え方を養う。						
学期	月	指導内容	具体的な指導目標		配当時数	備考	
一 学 期	4	生物の多様性と共通性	全ての生物がもつ共通性について理解する。また、生物は原核生物と真核生物に分けられることについて理解する。		15		
	5	生命活動とエネルギー	ATPの役割と構造について理解する。また、酵素のはたらきや光合成、葉緑体の役割について理解する。		15		
	6	生物と遺伝子	DNAの構造とその役割について理解し、ゲノムという言葉を用いて説明することができる。		15		
	7	遺伝情報の分配	細胞分裂の過程について理解し、説明することができる。		3	1学期のまとめ	
二 学 期	9	遺伝情報とタンパク質の合成	DNAの遺伝情報からどのようにタンパク質が合成されているか説明することができる。		15		
	10	体内環境の維持 体内環境を保つしくみ	体内環境がどのように維持されているのか理解する。また、それに伴う体液や器官のはたらきについて理解する。		15		
	11	体内環境を守るしくみ	生体防御のしくみについて理解するとともに、このしくみが医療に活用されていることを理解する。		15		
	12	植生の多様性と遷移 バイオームとその分布	植生が生態系の中でどのような役割を果たしているのか理解する。また、様々なバイオームについて理解する。		3	2学期のまとめ	
三 学 期	1	生態系とその保全 生物多様性の保全	生態系での物質の流れを理解する。また、生態系のバランスを維持するためにどうすればよいのか自分の考えを持つことができる。		19	1年間のまとめ	
	2						
	3						
年間授業時間数計	115		1学期 48	2学期 48	3学期 19		
学習上の留意点	日常生活との関連付けを考慮しながら、生物学の基本的・基本的な知識の習得を図るとともに、実験を通して探究する方法の習得を通して、科学的な思考力・判断力・表現力を育成する。						
評価の観点					評価方法		
関心・意欲・態度	授業に積極的かつ真剣に取り組み、事象に対して考え、発言しようとしているか。					授業プリント 定期考査 学年末レポート 授業態度	
話す・聞く能力	事象に対して自分の言葉で表現し、説明することができるか。						
読む能力	観察・実験に積極的に参加し、レポートなどにまとめることができるか。						
知識・理解	定期考査において、基準の点数に達することができるか。						